



ゆりの木みんなのまつりより

ゆり北

第127号 (12期第7号)

発行・光が丘パークタウン

ゆりの木北自治会

東京都板橋区赤塚新町

3-32-4-403

電話03(3938)9181番

発行責任者 吉 柳 俊 孝

1995.1.1
あけましておめでとうございます
健康に過ごせる1年でありほつうに
今年もどうぞよろしくお願ひ
いたします。

事務局 辛島 由美

賀正

謹賀新年

この新しい年が皆様にとって
素晴らしい一年になりますように
心よりお祈り申し上げます。
平成七年 元月

住宅対策部 安部 隆陽
11号棟912号室

(財)日本工務協会の葉巻を利用しました。

みなさま、こしは、ごいっしょに
たのしい 自治会活動 を
いたしましょう。

賀正

住宅対策部 西沢 由美子

賀正

1995

謹賀新年

戦后五十年
平和の継承

一九九五年元旦

光が丘公園
キジバト

今年

1995

環境防災部 林 治久

いねん
おめでとうございます
1995

地域のため子供たちのため
今年は手を取りあつて
ゆりの木自治会の役員に
なつてがんばりましょう!!
502(広報部 渡田 弘子)

1995

賀正

今年こそは団地問題は
解決しためでたき(特に西沢 千代子)内題

厚生手帳部
アトピー部

ゴミ問題は
深刻だ...

新春俳句

四号棟 小川希代

- ・年頭の句 亡き友を 偲びつつ
- ・生きている 幸せ富士に 賀詞を述べ
- ・初詣で 昼が楽しみ 帰り途
- ・利滄・腕白 笑顔がならぶ お年玉
- ・「足るを知る」 こと教わりて 除夜を聞く

今年は、いっしょに自治会を

明けましておめでとうございます。
団地の正月は、「平場」の正月に比べ
て松かざりも少なく、行き交う人の
晴着姿もめつたに見られず、気分が
薄れて味気なく感じています。
一つ歳をとるといふ快感が「恐怖
に変わつてもう久しいこの頃ですが
年末を含め六日間の休暇を楽しみた
いと思つています。
昨年十一月末に、光が丘のある団
地で十年間貯めてきた修繕積立金、
三億六千万円を、理事長に使い込ま
れる事件が発生しました。第一の要
因は理事長の個人的資質に係る問題
であり、第二には管理組合のチェッ
ク機能があげられましよう。しかし
遠因として、住民の管理活動への関
心の希薄さが指摘できるのではない
でしょうか。
「ゆり北」では、管理組合、自治会

が相互に協力しあつてのこと。そ
れぞれの組織が、規約に定められた
運営方法に則つて活動し、広報活動
も旺盛に行なわれておりますので心
配はありません。しかし総会への参
加や役員選任では両組織とも頭を
痛めているのが現実です。
会員一人一人の持つてゐる、智恵
と時間を少しずつ出しかうることによ
つて、それぞれの組織がさらに活発
化することは明らかです。
新年にあたり、あなたの今年の抱
負、決意のひとつに「自治会・管理
組合の活動に参加すること」を加え
ていただきたいと思います。
今年も明るく楽しい、安全な団地
づくりのために手を取りあいましょ
う。

会長 吉柳 俊孝

値上げは引続き「凍結」を！

ご協力ありがとうございました

署名八三五名、カンパ二二三、六〇〇円

賃貸住宅の家賃値上げ問題は、「公共料金の凍結」を受けて当初の予定十月実施が見送られました。その後村山内閣によって「国民の十分な理解を得ることが出来ないような引き上げは認めない。行政改革なくして安易な料金改革なし」という方針が出され、各省庁に対して特殊法人の見直しを求めました。

建設省の住・都公団に関する報告書では、大都市圏における中堅勤労者向け住宅の供給、民間投資を誘導する都市基盤整備、高令社会に対応する住宅における先導的事業などを公団

「住民による住居環境を守る運動」公団の社会的責任とその住宅政策を問う運動として約5年間続けてきました「光が丘にパチンコ店はごめんだ」住民会議が、

十二月三日土曜日に光が丘区民センター3階ホールで、全国各地のパチンコ店出店反対運動に取り組んでいる人々が集い交流を深めるための集会を行いました。またここで、公団が買戻し特約期限を来年三月に控えていることを考慮し、法的手段を取ったことを表明しました。

全国の自治協、23区自治協では、94年全国統一行動として、公団総裁お

よび建設大臣あての署名運動を行なってきた。ゆり北自治会でも賃貸住宅を対象に署名とカンパ活動を進め、十二月四日現在、署名二七〇世帯八三五名、カンパ二二三、六〇〇円が集まりました。

(なお全国では、署名は一五九、〇二四世帯、四四九、九九九名でした。)

十二月七日の全国公団住宅居住者大会で公団総裁および建設大臣に提出いたしました。

引き続き、公団家賃の値上げを「凍結」し、国会での厳正な検討を求め取り組んでいきます。

小・中・高校が四十五もあり、その光が丘の中心部の、しかも居住棟の下に大型のパチンコ店が設置されたとしたら、様々な好ましさからぬ影響が及ぶことは必至です。住民は居住環境に影響を及ぼす事柄に対しては、異議を申し立てる独自の権利を有し、居住する地域がいかにあるべきかについて発言し、決定できる固有の権利があるむねの発言がありました。

引き続き、盛岡市・草津町・国分寺市・葛飾区・世田谷区(二団体)・練馬区からの参加七団体の代表から、各々の地域における運動の教訓、問題点、ならびに問題提起がなされました。日常生活に追われて地域全体を考えることが少なかった者が、この運動を通じて「街」が見えるようになってきたこと、単なるベッドタウンではなく体や心が豊かになる街づくり、私達住民自身ももっとかわっていくことの大切さを感じたこ

と、法律上は問題なくても最初に常識はずれ、モラル違反であること、密室の議論ではだめであること、動ける時に動かなければ経済の論理に負けてしまうなどの話が出ました。

この後パネラーとして全国公団住宅自治協事務局長井上紘一さん、弁護士土肥尚子さん、十文字女子短期大学教授藤井敏信さんの発言がありました。井上さんからは「最初に光が丘の住居棟にパチンコ店ができるという計画を聞いた時、まずびっくりした。自治会として、住みよい団地をつくること、子供達にふさわしいと言える環境を守り、住んでいる人間が健康的で安全なそして青少年問題を含めたコミュニティー、豊かな生活空間を作っていくという観点から言って自治会がどういう態度をとらなくてはならないかは常識的に決まってくると思います。自治協としてはバックアップしていく」との発言がありました。弁護士土肥さんは「他の地域でもいろいろ頑張っているのだな、街作りは感性から、自分で考えて人に働きかけて作っていくのだな」とこの集いに出て感じた。法律の建前から言って、住民にとって有利にはできていないけれど、合法非法の間がある、こちらには常識がある、モラルがある、いろいろなかたちで働きかけていかなければならない。街づくりという観点で全国津々浦々で住民運動があり、孤立

十二月七日、ゆりの木北団地賃貸住宅居住者の皆様の「家賃値上げ反対」等関連の署名を持って出かけました。定刻十五分前に千代田区公会堂に着いたのですが、すでに満員で空席をさがすのが大変でした。当然のこととはいえ、初めて参加した私はその熱気にびっくりしました。北は北海道から南は九州まで一五七団地、一〇七八名の参加、壇上にうず高く積み重ねられた署名は四五万人にも及ぶ大規模なものでした。

全国自治協代表の挨拶に始まり、政党代表の挨拶、各地方自治協からの発言など、反対のアピールが寸劇、歌、踊りに託されて次々に繰り広げられます。一団地で五〇名も引きつられてのハッピー姿の踊りに「あつごい！」と思いつながら、私はつい自分の足元を見つめてしまいました。ゆり北の団地では、署名運動などはや

っていないことなどの発言がありました。藤井さんからは「団地はカギさえてしまえば他の人とかかわらなくてもいい所となっている。他のことは誰かがやってくれるだろう」ということに問題があるのではなか。街作りという話は日常的にはやっていない。集まっている人が街を作る、参加がうまくいっている所がいい街になっている気がする」との発言がありました。

活発な会場からの意見交換があり最後にアピールを満場一致で採択して閉会となりました。

私たちは、今日ここに集い、団地を住みやすい自然環境にパチンコ店を出店させようとしている人々に対して、その社会的な責任を問う署名運動を断固として行なうことを誓った。

パチンコ店、遊技場、娯楽施設の増設は、地域社会にとって大きな問題です。パチンコ店、遊技場の増設は、地域社会にとって大きな問題です。パチンコ店、遊技場の増設は、地域社会にとって大きな問題です。

私たちは、今日ここに集い、団地を住みやすい自然環境にパチンコ店を出店させようとしている人々に対して、その社会的な責任を問う署名運動を断固として行なうことを誓った。

パチンコ店、遊技場、娯楽施設の増設は、地域社会にとって大きな問題です。パチンコ店、遊技場の増設は、地域社会にとって大きな問題です。パチンコ店、遊技場の増設は、地域社会にとって大きな問題です。

私たちは、今日ここに集い、団地を住みやすい自然環境にパチンコ店を出店させようとしている人々に対して、その社会的な責任を問う署名運動を断固として行なうことを誓った。



住まいは福祉

公団居住者集会に参加して

住宅対策部 西沢

十二月七日、ゆりの木北団地賃貸住宅居住者の皆様の「家賃値上げ反対」等関連の署名を持って出かけました。定刻十五分前に千代田区公会堂に着いたのですが、すでに満員で空席をさがすのが大変でした。当然のこととはいえ、初めて参加した私はその熱気にびっくりしました。北は北海道から南は九州まで一五七団地、一〇七八名の参加、壇上にうず高く積み重ねられた署名は四五万人にも及ぶ大規模なものでした。

現在自治協関連には、会長の応援と住宅対策部三名の四人で当たっていますが、身近な住宅補修の問題や、公団交渉などに時間をとられ、値上げ反対運動問題には没頭できないのが正直なところではあります。

居住者の皆様には、自治会活動により以上の関心を持って頂き、ひとりひとりが自分の問題として、これからの高齢化社会に向けての住みよい住宅環境づくりに大勢の皆様のご参加とご協力を切にお願いしたいと思います。

アピール

私たちは、今日ここに集い、団地を住みやすい自然環境にパチンコ店を出店させようとしている人々に対して、その社会的な責任を問う署名運動を断固として行なうことを誓った。

